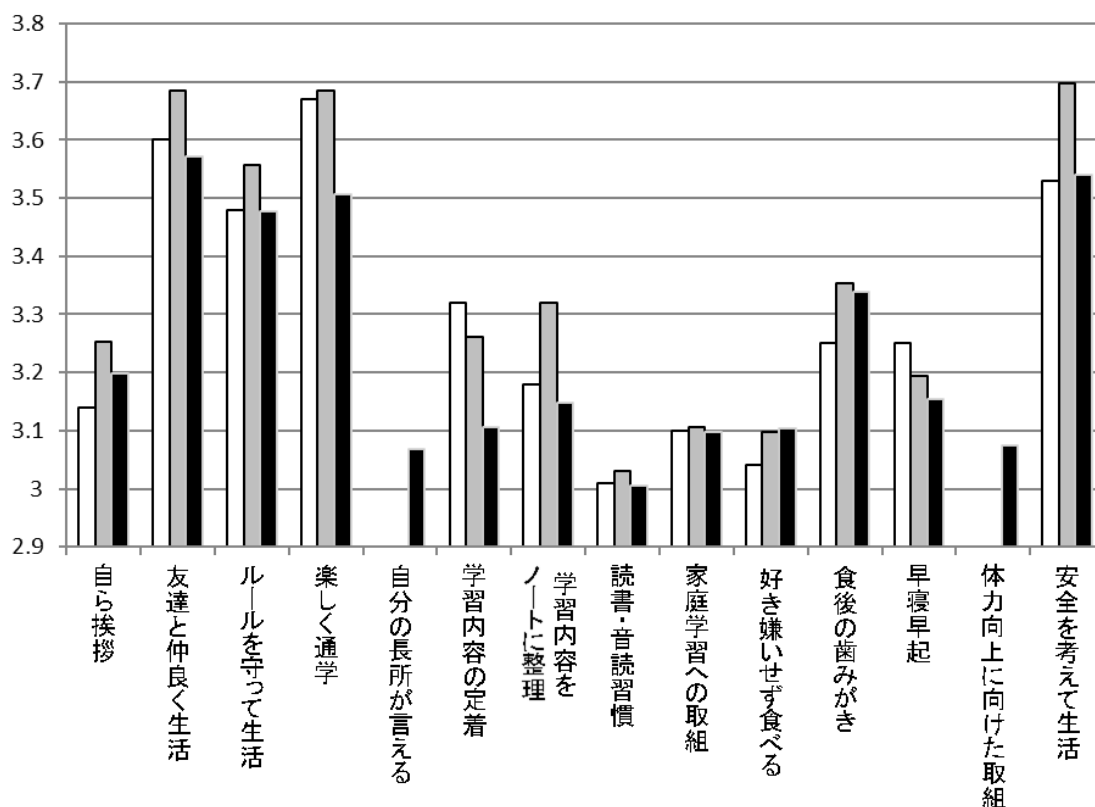


保護者評価(R3～R5)

□ R3 ■ R4 ■ R5



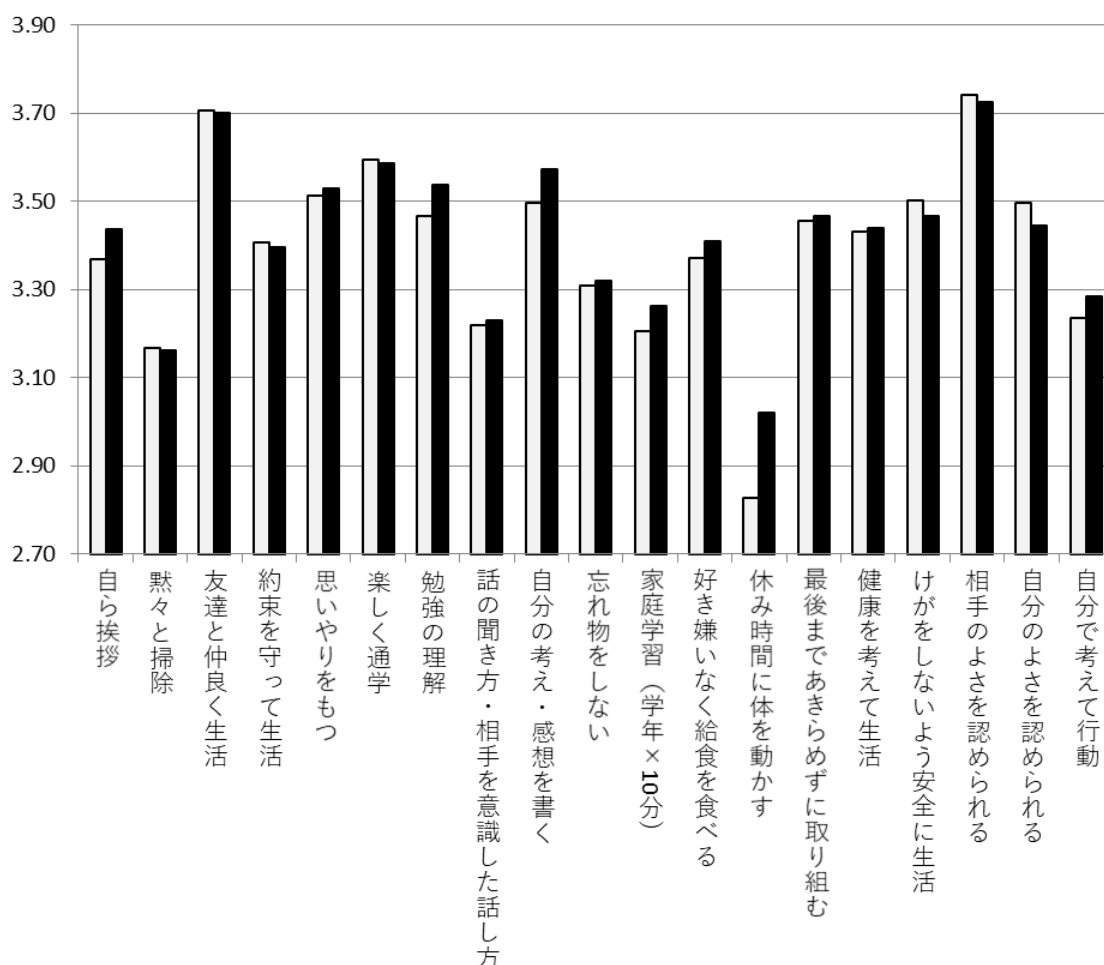
保護者の皆様、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。上記のアンケート結果のグラフは、令和3年度～5年度の経年変化を載せたものとなっております。「自分の長所が言える」「体力向上に向けた取組」の2項目に関しては、令和5年度より新たに調査したものとなりますので、過去の記録はございません。

今年度も例年と同様、「友達と仲良く生活」「ルールを守って生活」「楽しく通学」「安全を考えて生活」の4項目が高い数値となっています。しかし、どの項目も昨年度の数値から減少傾向にあるため、今後も高い水準を保っていけるように安心、安全な学校環境づくりに努めてまいります。

また、「自分の長所が言える」「読書・音読習慣」「体力向上に向けた取組」については、本アンケートで低い評価となりました。「自分の長所が言える」では、各家庭において長所を伝え合う場面が少ないこと、家族には恥ずかしさもあり素直に伝えられないということもあるようです。本校ではキャリア教育を推進しており、自分の長所を「つよみ」として伝えられるように日々の活動で意識しているところです。自分で自分のことを認め、また他者のよさにも目を向けられるようにしていければと思います。「読書・音読習慣」については、SNS等の発展により、本離れが進んでいることも大きな要因と考えております。活字に触れる機会をきちんとつくれるよう、家庭学習の取り組ませ方においても工夫をしていきたいと思っています。「体力向上に向けた取組」については、学年が上がるにつれて体を動かす機会が減っている傾向にあります。学校における子供向けのアンケートでも、休み時間に外遊びをする子が少ないことが本校の課題にもなっております。子供たちが進んで体を動かす環境づくりに努め、健康づくりへの関心を高めていきたいと思っています。

子供たちがより通いたくなる学校、学び多き学校となるよう努めてまいります。引き続き、ご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

児童アンケート（R5 前期・後期比較） □ 前期 ■ 後期



全校児童対象のアンケートでは、「友達と仲良く生活」「相手のよさを認められる」の2項目が特に高評価でした。続いて「思いやりをもつ」「楽しく通学」「自分の考え・感想を書く」の3項目についても前後期ともに高い評価となっています。本校では令和4年度からキャリア教育を推進してきており、自分の思いを表現することや、自他のよさを認めることを大切にしながら、学校教育を進めてきました。相手意識をもちながら生活をしてきた成果が少しずつ表れてきたことが伺えます。

しかしながら、「黙々と掃除」「休み時間に体を動かす」の2項目については、低い評価となりました。「黙々と掃除」に関しては、黙々と取り組んでいる児童とそうでない児童との2極化が顕著に表れていました。短い時間で自分たちが普段使用している場所をきれいにすることの意義を、職員も一緒に取り組む中で伝えていきたいと思います。また、「休み時間に体を動かす」に関しては、例年低い数値となっています。高学年になると、委員会活動や行事の準備等、個々が自由となる休み時間が十分に確保できていない実態があります。また、体を動かすこと自体を好まない児童もいます。様々な活動をしていく中で時間には限りがあります。優先順位を決め、児童の実態に合った教育活動ができる環境づくりに努めてまいります。